

このコーナーでは、皆さんからのお便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。
《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。
《Eメールアドレス》 kanri@town.mifune.lg.jp
※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

まちへのラブレター

昨 年は仕事でいきいきフェスタに行けず、悔しい思いをしました。今年も行けそうです。測定コーナーが一番の楽しみです。他の市町村ではやってませんよね！これからも続けて下さい。

(Sさん／滝尾)

いきいきフェスタ2015へはご来場いただけましたか？このフェスタは、住民による実行委員会で企画されています。こころと身体の健康に関心をもってもらうため、楽しい催しをとり入れながら、何らかのかたちで今後も継続できたらと考えています。

(健康推進係)

幼 稚園、保育園の運動会が残っているのが毎日大変です。でも子供達もがんばっているのを見ると(がんばらなくては)と力もわいて来ます。

(Sさん／滝尾)

1 番すてきな季節到来。稲穂も色づき始まり、彼岸花も満開です。子供達との登校も今が1番です。

(Mさん／滝尾)

「ゴールデンウィーク」と対の言葉「シルバーウィーク」。息子達は5連休とかです。そのご利益あつてかお隣のサントリービール工場への施設見学へ行きました。新鮮なビールはとてもおいしかったです。

(Mさん／木倉)



御船高校

NOW

〒861-3204
御船町木倉1253番地
☎ 282-0056
fax 282-1286
e-mail mifune-h@pref.kumamoto.lg.jp

※写真は昨年のものです。

平成27年度 御船高校文化祭「龍鳳祭」を開催

10月31日(土)に文化祭「龍鳳祭」を開催します。今年のテーマは「躍動〜感字風動〜」。ステージ発表や展示、食品バザーなど生徒や育友会による様々な企画が予定されています。当日は一般公開(9時〜15時)もありますので、お誘い合わせのうえお気軽にお越しください。多くの皆様のご来校をお待ちしています。

また、文化祭では、株式会社ユニクロの協力を得て、届けよう、服のチカラ、プロジェクトに取り組めます。このプロジェクトは不要になった子ども服を回収し、難民など世界で服を必要としている人々へ送るプログラムです。

回収対象は、洗濯済みの赤ちゃん用〜160cmサイズの子どもの服のみです。パンツや靴下など下着や、帽子・くつ・マフラー・ベルトなどの小物は対象外です。ご協力をよろしくお願い致します。

2年生インターンシップ お世話になります。

10月19日(月)から23日(金)の5日間、本校2年生のうち152名が、御船町や近隣地域の各事業所でのインターンシップ(就業体験学習)に取り組まします。この機会に勤労観や職業観を高め、産業界などの知識や技術に触れ、地域の方々とのコミュニケーション能力が向上することを期待しています。実習先となる各事業所をはじめ、地域の皆様のご協力とご指導のほどよろしくお願い致します。

文芸

ひとひねり

短歌

長雨に減塩梅漬け五十キロカビつけまじと日照りを選ぶ 奥田利恵子
若くして戦死の兄は七十年平和を知らず哀惜に思う 甲斐レイ子
亡き夫へ吾の為し得ることの一つ供花の百合夜を香れる 金森 英子
河野裕子ゆかりの燭白寿まで短歌詠みつづけ旅立ちませり 平野 文子
なおざりに育てし子等に悔いのありはんわか育つ孫らとの日々 藤本 京子
アツツ、サイパンと玉碎せるもまだ勝つと信じてあたりわれら世代は 正宗タツ子
今年また高齢者免許更新せり心機一転気を引き締める 山本志満子
深夜まで暗きニュースのラジオ消し眠りつくまで聞く雨の音 市川 結子

俳句

御船春菊句会 水野つとむ選
ほろと咲きほろほろ零る稲の花 守田 律子
水澄めりわが身の衿を正さねば 黒田 順子
鬼やんま風の高さを飛びにけり さとうともこ

風吹いて阿蘇の芒をかきみだす 渡辺 澄江
蜻蛉が追ひかけてくる山のバス 緒方 栞
大空を焦がして終る大花火 吉田登美子
うすうすと秋の朝虹公役果つ 渡辺ケイ子
一輪の花野の色を持ち帰る 緒方 宣子
胸元にそよと秋風入りくる 丹生 則子

肥後狂句

天狗会

掛け声ばかり 拉致のリボンは飾りかい 増永 笑和
せからしき 俺の遺産は放棄しゅう 河地 ゆき
混ぜたくり 見たら喰う気の無うしなり 林田 実花
溜まつとる 木の葉がトイもうつつめた 藤本 好水
土砂降り 土手が気になり寝ちやおれん 川部 呉穂
溜まつとる 晴着がしぶきいちかぶり 吉田 楽園
溜まつとる 親の通帳見てニヤリ 木村 道草
うつつかつ 好取り組にさしちがい 田中 穂波

一般投稿

朝ツ五時バイクの音に目をさます新聞少年御苦労さんと 松岡フミエ